

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年 4月 11日

明石市長 殿

提出者

住所 神戸市中央区京町83番地

氏名 ケミプロ化成株式会社
代表取締役社長 兼俊寿志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 078-393-2530

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ケミプロ化成株式会社 明石工場
事業場の所在地	明石市二見町南二見22番31号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	1639 その他の有機化学工業製品製造業
②事業の規模	製品出荷額213,051万円(令和5年度分)
③従業員数	40人(2024年4月1日現在)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物の発生については別紙1-5「製品A-C、E、Fのブロックフロー」別紙6「製品以外発生廃棄物フロー」の記載のとおり 各廃棄物発生後の引き取り手順は別紙8「廃棄物処理に関する管理組織図」の記載のとおり 収集運搬、処理方法、処理会社については別紙12「特管物の種類」の記載のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙8「廃棄物処理に関する管理組織図」のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項」の記載のとおり
	排出量	
(これまでに実施した取組) 511tの計画に対し516 tと廃棄物が1%増加しました。生産計画では2854 tの計画に対し2742 tで4%減ではありますが、廃棄物の多く出る製品を生産したため1%の増加となりました。取り組みとしては、従来と同じとなりますが製品収率アップ、溶剤の回収率アップまたライン洗浄量を少なくし、窒素圧送を行っております。		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項」の記載のとおり
	排出量	
(今後実施する予定の取組) 今年度も製造工程で見直しできる事がないか、生産技術部と共に協力し削減に努めます。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今回も前回同様に置き場を明確にし、識別・表示保管状況等のチェックをおこなっています。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、識別・表示保管状況等のチェックをおこない問題がないかを確認します。(業務日報に項目を入れて確認をおこなっています。)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項」の記載のとおり
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項」の記載のとおり
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の記載のとおり
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の記載のとおり
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) 特になし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の記載のとおり
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙10「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の記載のとおり
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙10「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の記載のとおり
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 出来る限りの排出廃棄物のリサイクルを推進。	

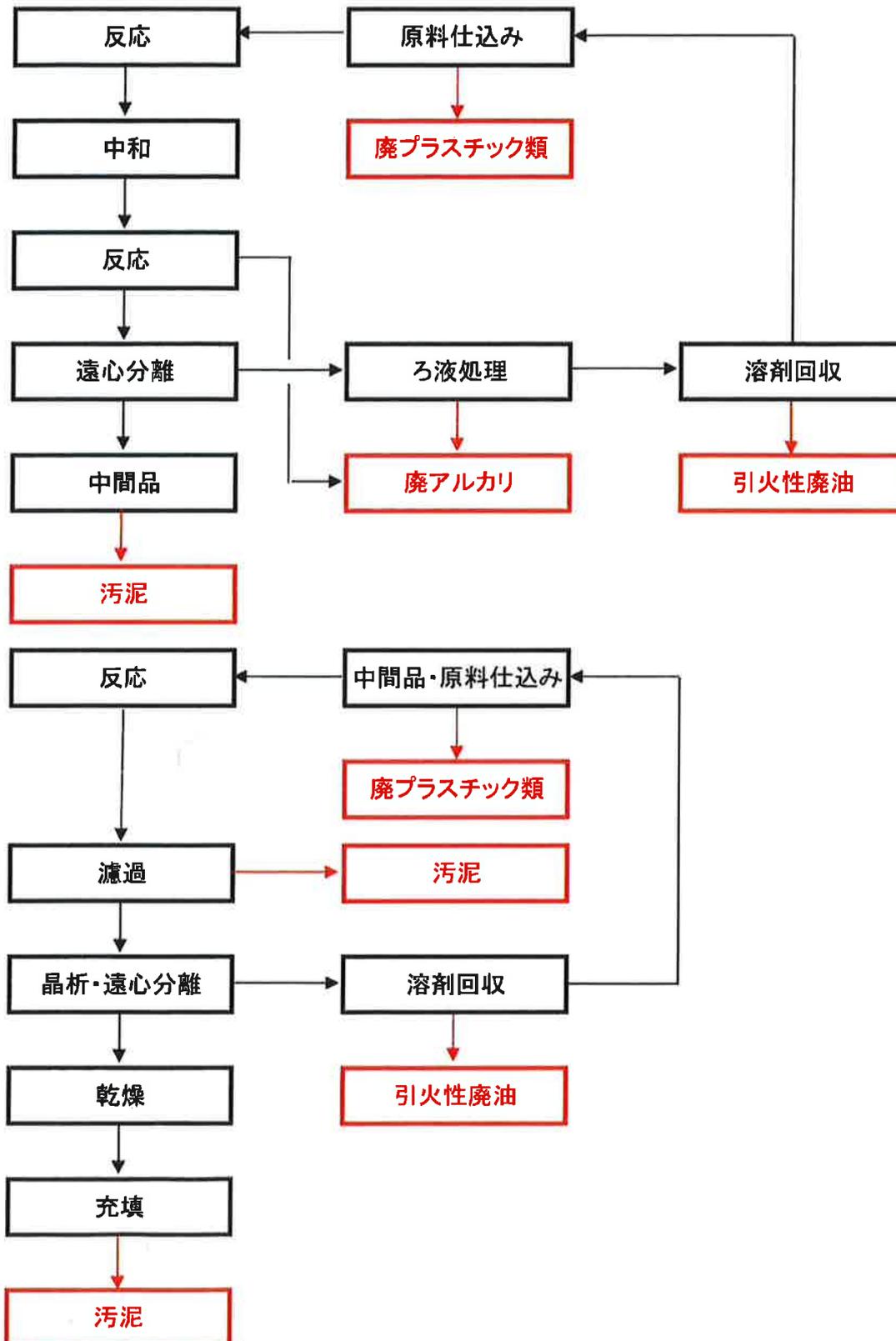
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙10「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の記載のとおり	
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>製造工程での見直しをおこない特管廃油を出来るだけ削減する。排出廃棄物の有価での引き取りできないかの検討。また、特管廃油について出来るだけサーマルリサイクルできる業者に100%処分を依頼していくようにしたいと思っています。強酸については再生利用できる業者に依頼しております。</p>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和5年度実績）】		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	516	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>すべて電子マニフェストでおこなっております。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

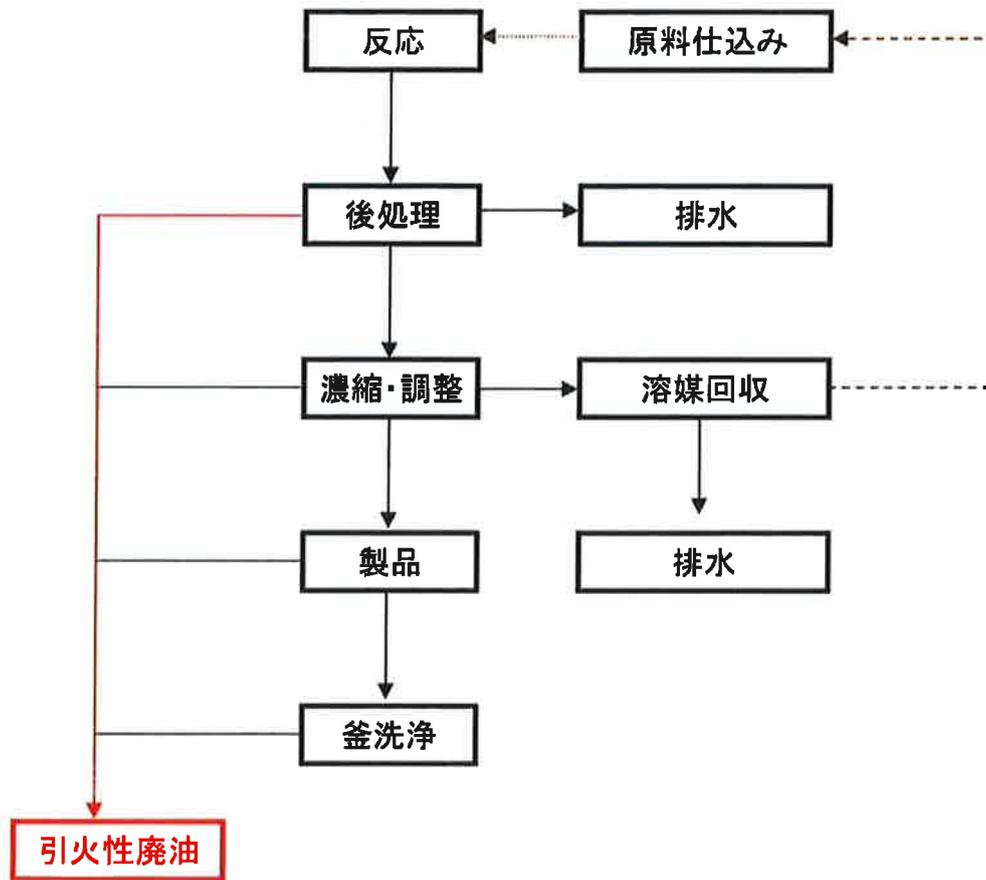
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

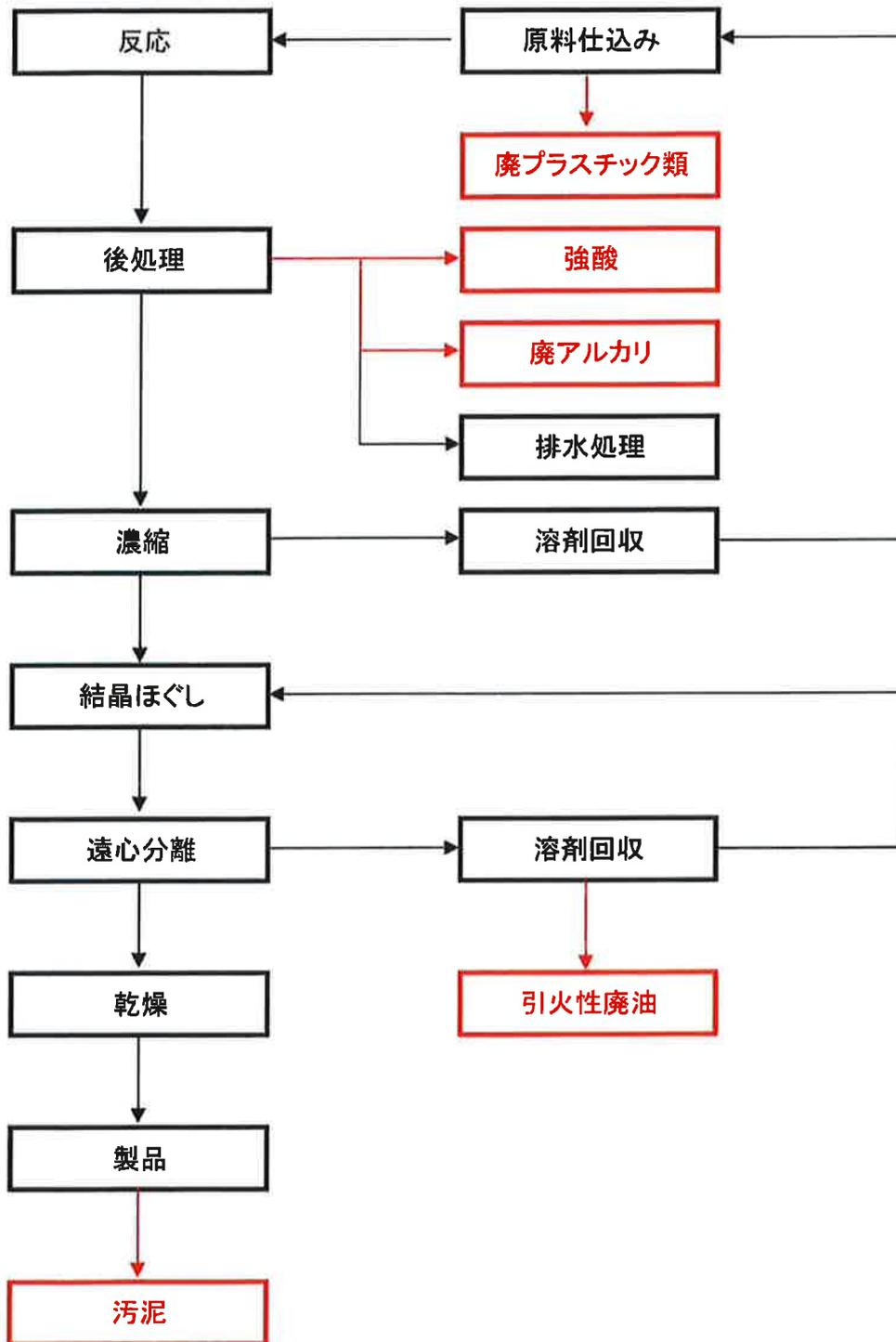
製品Aブロックフロー



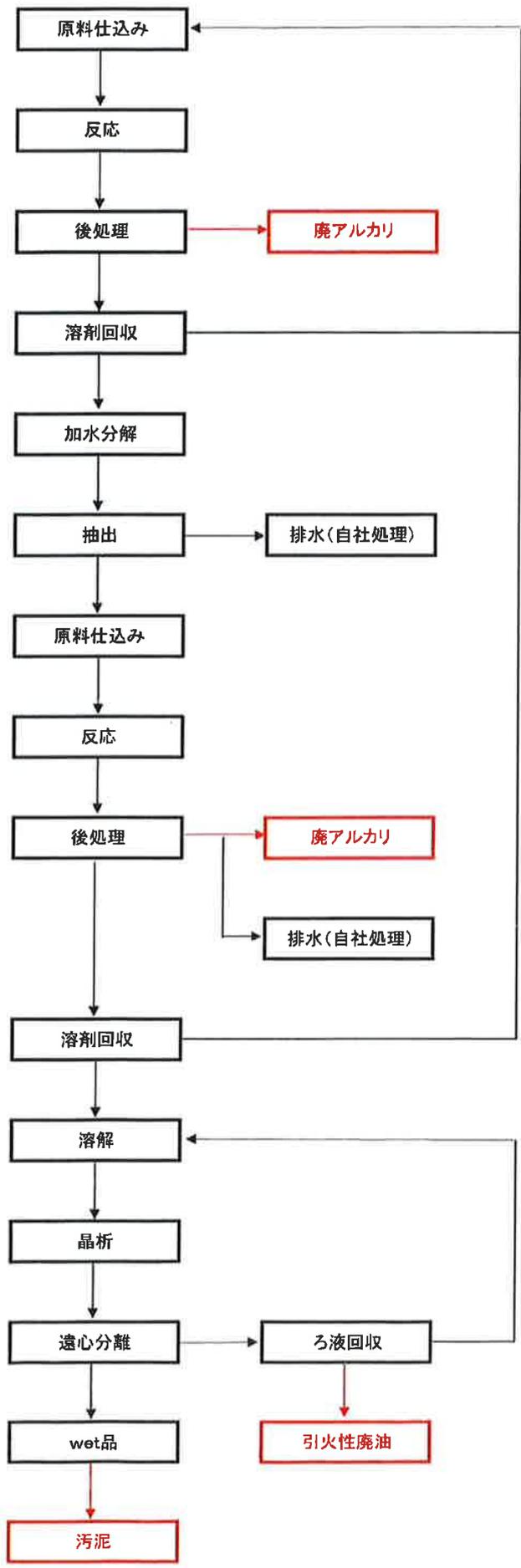
製品Bブロックフロー



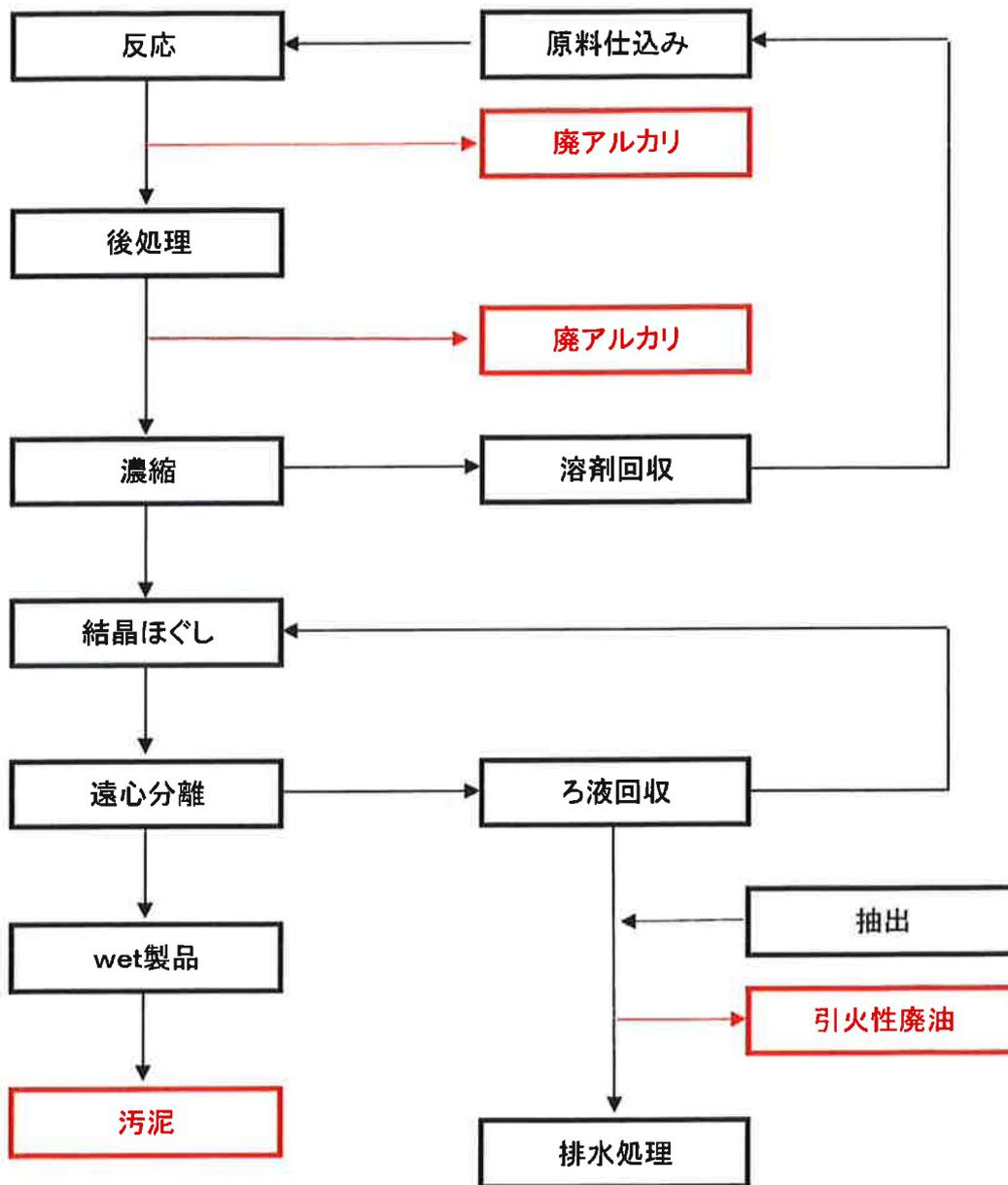
製品 C ブロックフロー



製造E ブロックフロー



製品 F ブロックフロー



製品以外発生廃棄物フロー

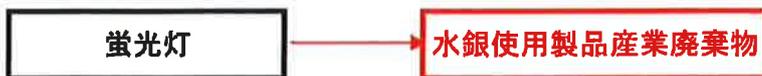
生産技術部・品質管理部より廃液



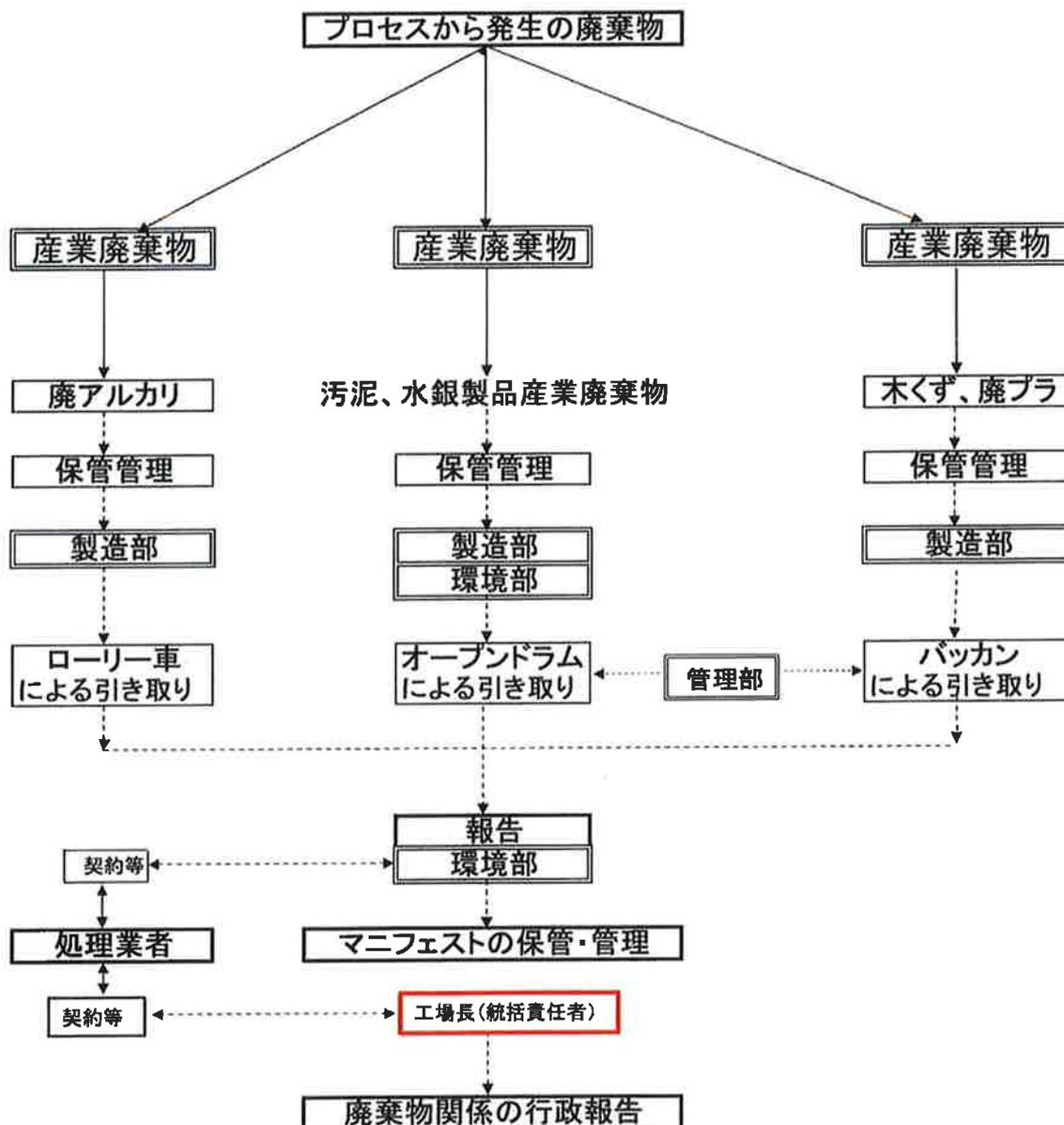
原材料荷受け時



工場の照明



廃棄物処理に関する管理組織図



分担

環境部

- ・廃棄物処理計画等の策定、行政への報告
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引き渡し、適正処理の確認
- ・マニフェストの保管管理

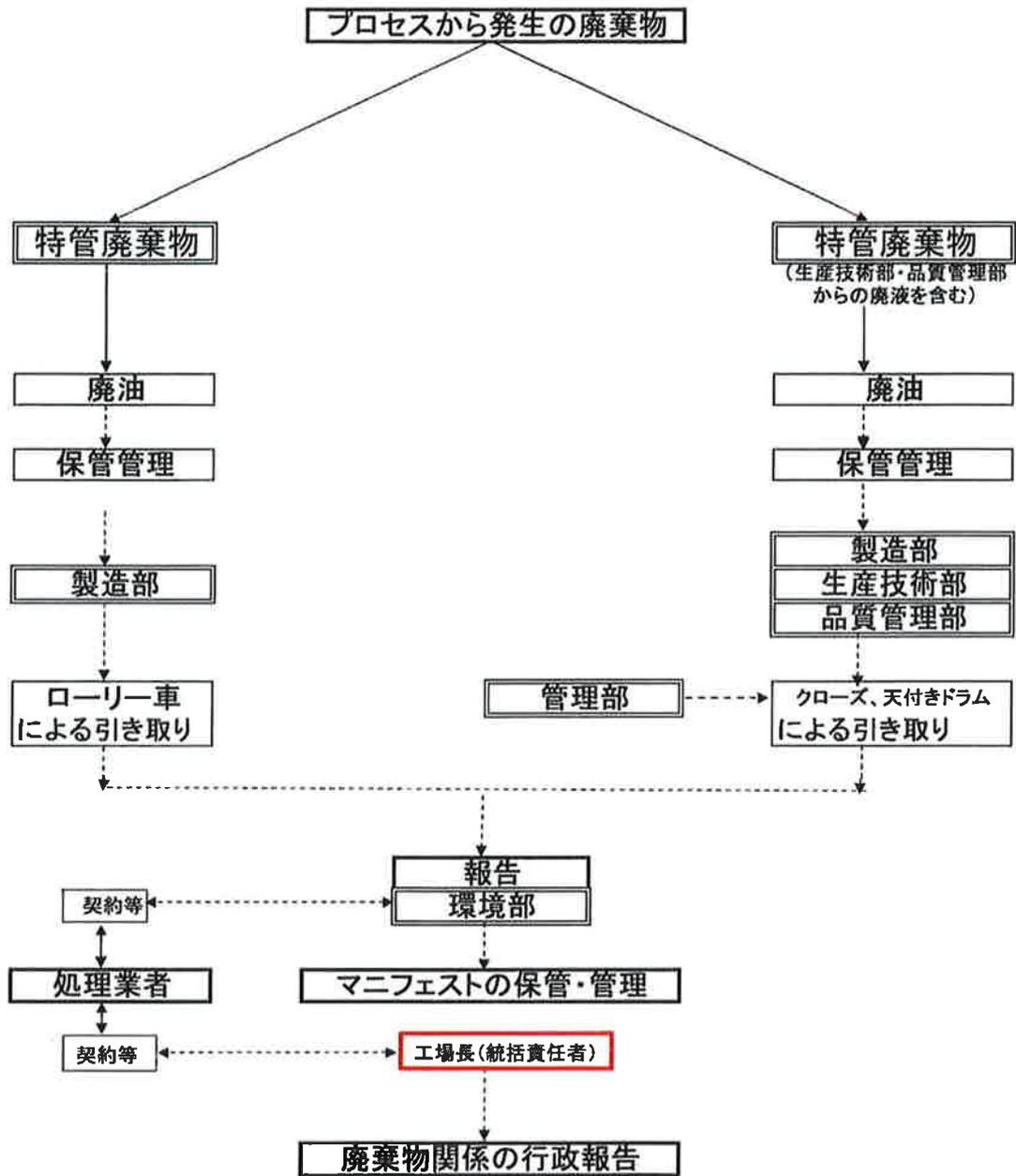
製造部

- ・部署内の発生産業廃棄物の削減、分別、保管場所への運搬

管理部

- ・廃棄物の積み込み

廃棄物処理に関する管理組織図



分担

環境部

- ・廃棄物処理計画等の策定、行政への報告
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引き渡し、適正処理の確認
- ・マニフェストの保管管理

製造部、品質管理部、生産技術部

- ・部署内の発生産業廃棄物の削減、分別、保管場所への運搬

管理部

- ・廃棄物の積み込み

別紙9

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
排出量	80	33	2652	5	11	0.07	2781.07

・計画 目標

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
排出量	63	48	2770	7	14	0.1	2902.1

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
自ら再生利用をおこなった量	0	0	0	0	0	0	0

・計画 目標

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
自ら再生利用をおこなった量	0	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
自ら熱回収をおこなった量	0	0	0	0	0	0	0

・計画 目標

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
自ら熱回収をおこなった量	0	0	0	0	0	0	0

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分をおこなった量	0	0	0	0	0	0	0

・計画 目標

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分をおこなった量	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
全処理委託量	80	33	2652	5	11	0.07	2781
優良認定処理業者への処理委託量	56	33	1509	0	11	0	1609
再生用業者への処理委託量	24	33	2100	5	11	0.07	2173.07
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	9	0	0	0	9
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	56	0	542	0	0	0	598

・計画 目標

単位t

単位t

産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃アルカリ	金属くず	廃プラ類	水銀製品	合計
全処理委託量	63	48	2770	7	14	0.1	2902.1
優良認定処理業者への処理委託量	63	3	1190	0	1	0	1257
再生用業者への処理委託量	20	48	2040	7	14	0.1	2129.1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	130	0	0	0	130
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	43	0	600	0	0	0	643

別紙10

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
排出量	345	141	30	516

・計画 目標 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
排出量	335	213	30	578

自ら行う特管物の中間処理に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
自ら熱回収をおこなった量	0	0	0	0

・計画 目標 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
自ら熱回収をおこなった量	0	0	0	0

特管物の処理の委託に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
全処理委託量	345	141	30	516
優良認定処理業者への処理委託量	345	141	30	516
再生用業者への処理委託量	7	42	30	79
認定熱回収業者への処理委託量	232	0	0	232
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	113	0	0	113

・計画 目標 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
全処理委託量	335	213	30	578
優良認定処理業者への処理委託量	335	213	30	578
再生用業者への処理委託量	0	213	0	213
認定熱回収業者への処理委託量	134	0	0	134
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	201	0	30	231

自ら行う特管物の再生利用に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
自ら再生利用をおこなった量	0	0	0	0

・計画 目標 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
自ら再生利用をおこなった量	0	0	0	0

自ら行う特管物の埋立処分に関する事項

・現状 前年度(令和5年度)実績 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
自ら埋立処分をおこなった量	0	0	0	0

・計画 目標 単位t

特管物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	合計
自ら埋立処分をおこなった量	0	0	0	0

別紙11

産業廃棄物の種類

廃プラスチック	収集運搬 破碎処分	<委託:(有)明石清掃> <委託:田口建材(株)>、<委託:木村工業(株)>
汚泥	収集運搬 収集運搬 焼却処分 その他処分	<委託:一宮運輸(株)>、<委託:(有)明石環境開発>、<新岡山工業> <委託:内田工業(株)> <委託:エコシステム山陽(株)>、<委託:(株)パルテック> <委託:内田工業(株)>
木くず	収集運搬 破碎処分	<委託:(有)明石清掃> <委託:田口建材(株)>、<委託:木村工業(株)>
廃アルカリ	収集運搬 収集運搬 収集運搬 焼却処分 焼却処分 調整分離 中和	<委託:(株)パルテック>、<サンエム> <委託:(株)新岡山工業>、<委託:(株)ユアック>、<委託:エコシステムジャパン(株)> <委託:サンワリユーツ(株)>、<委託:(株)コダマ>、<委託:(株)ダイセキ> <委託:(株)パルテック>、<委託:エコシステム山陽(株)>、<委託:エコシステム岡山(株)> <委託:(株)ダイカン> <委託:岡山鉱油(株)> <委託:(株)パルテック>、<委託:サンワ南海リサイクル(株)>、<委託(株)ダイセキ>
金属くず	収集運搬 洗浄・圧縮・破碎処分	<委託:(株)AYK> <委託:尼崎容器工業(株)>
水銀製品産業廃棄物	収集運搬 コンクリート固化	<委託:(有)明石清掃> <委託:関西環境建設(株)>

別紙12

特管物の種類

引火性廃油

収集運搬 <委託:(株)太田化成商会>、<委託:(株)ダイセキ>
収集運搬 <委託:一宮運輸(株)>、<委託:エコシステムジャパン(株)>、<委託:(株)新岡山工業>
焼却処分 <委託:新日本開発(株)>、<委託:エコシステム山陽(株)>
燃料化 <委託:(株)ダイセキ>

強酸

収集運搬 <委託:大幸工業(株)>
中和 <委託:大阪ベントナイト事業協同組合>

強アルカリ

収集運搬 <委託:(株)パルテック>
中和 <委託:パルテック>